

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

杜の家

(ユニット名)

北

記入者(管理者)

氏名

矢野 優子

評価完了日

平成19年12月 3日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600511		
法人名	有限会社エンジェル・コール		
事業所名	グループホーム杜の家		
所在地	愛媛県西条市朔日市892 (電話) 0897-52-1003		
管理者	矢野 優子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年1月17日	評価確定日	平成20年2月25日

【情報提供票より】 (平成19年12月7日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年3月3日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	11人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.2人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年12月7日現在)			
利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	8 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.7 歳	最低 75 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ご自分のお部屋のふき掃除をされる方や鉢植えの花を育てておられる方、行事の際、お好きなカラオケを皆に披露される方、入浴時には、ご自分の下着を手洗いされる方もおられ、それぞれの習慣や趣味等を継続できるよう支援されている。時に手作りのおやつを作って楽しめることもある。</p> <p>職員の提案で、毎月、抜き打ちで避難訓練が行なわれている。警報が鳴ると利用者、訪問中のご家族等も揃って避難訓練をされる。訓練後には反省会も行なわれており、回数を重ねるごとに手順が確立してきており、避難に要する時間も短縮されてきている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、利用者の楽しみを増やす取り組みとして、月に1回おやつを手作りする機会を作られた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・毎日の申し送り時、職員は自己評価の項目を一つずつ話し合いながら作成された。自己評価作成にあたり、利用者との関わり方を見直す良いきっかけとなったと話されていた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・会議を通して、自治会長から災害時の避難場所や防災グッズ等について教えていただいた。ご家族から事業所の「その月の行事予定を掲示してほしい」という要望があり、写真等とともに掲示されていた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・家族会には家族同士の話し合いの時間を作り、意見交換していただいている。職員の笑顔がほしいというような意見もいただき、今年の目標として取り組まれている。家族の協力もあり、ハーモニカ演奏やお話相手のボランティアの来訪もある。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・保育園児の訪問があり、一緒に餅つきを楽しまれたり、お天気の良い時には、日常的に散歩等も楽しまれている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は職員が作成し、利用者さんが安心して生活が送れるように「和やかで笑顔あふれる生活づくり」という理念をあげている。		
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の生活を第一に考え、理念が作られている。地域との交流をすすめるためにも、地域の方や利用者が入りやすいように門戸を開放しておられる。		さらに、この機会を地域密着型サービスを提供する事業所として、今後どのようなことを目指していくかということについて、話し合ってみる機会とされてはどうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			朝の申し送り時に声を出して理念を口にするようにしており、理念の実現に向けて取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			理念に沿って、今年「朝と帰りのあいさつは笑顔でしょう」と目標を立て、すべての職員で取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営理念は玄関、ホーム、事務所等に明示し、家族さんや来訪の方に見学の場面で説明している。		
					近所との付き合いなども積極的に増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけた際には挨拶を交わしたりはしているが、気軽に立ち寄ってもらえることは少ない。		地域のボランティアやお年寄りや子供などが立ち寄れるようなことを考える。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の企業へのお花見に行かせてもらったり、地域のお祭りには、ホームにだんじりが来たりして地域の人との交流を図っている。会社で行っている盆踊り大会は地域の方にも自由に参加してもらっている。		今後、敬老会などの地域行事にも参加していきたい。
			(外部評価) 保育園児の訪問があり、一緒に餅つきを楽しまれたり、お天気の良い時には、日常的に散歩等も楽しんでいる。		利用者の暮らしの拡がりために、地域の人達と交流する機会をさらに増やしていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 市町村と連絡を密にして、介護教室や認知症介護講習を受託している。実習の受け入れも行なっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価に対して、できるだけ全員で取り組み、結果も全職員に伝えながら、改善点を話し合っている。		毎朝の申し送りで一つずつ具体的な改善に取り組むようにしたい。
			(外部評価) 毎日の申し送り時、職員は自己評価の項目を一つずつ話し合いながら作成された。自己評価作成にあたり、利用者との関わり方を見直す良いきっかけとなったと話されていた。前回の評価結果を受けて、利用者の楽しみを増やす取り組みとして、月に1回おやつを手作りする機会を作られた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			<p>前回の会議で取り上げられた意見について、経過や結果を報告している。また現在取り組んでいる内容についても報告し意見をもらうようにしている。</p>		より多くの方に参加をしていただけるように運営推進会議の目的などを家族会や地域の中でも広めて生きたい。
			(外部評価)		
			<p>会議を通して、自治会長から災害時の避難場所や防災グッズ等について教えていただいた。ご家族から事業所の「その月の行事予定を掲示してほしい」という要望があり、写真等とともに掲示されていた。</p>		事業所では、今後、地域の多くの方に会議に参加していただき、事業所の取り組みや認知症について理解していただけるよう、働きかけていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			<p>発言や指導を受けたり、利用者さんの事故や苦情等は連絡、相談をさせてもらっている。問題解決を図れるような体制をとっている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>包括支援センターの協力を得て、事業所で感染症の勉強会を行われたり、相談員の受け入れ等、市と連携しながら取り組まれている。運営者は、キャラバンメイト等の講師をされている。</p>		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			<p>成年後見制度を利用されているケースは現在おられないが、パンフレットや窓口の紹介ができるように配慮している。</p>		研修や勉強会を通じて制度を理解し、利用者さんの背景にあった支援を行いたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			<p>勉強会を行ったり、研修へ参加するなどして虐待について学ぶ機会がある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者さんや、家族さんの不安が大きいのので、十分な説明を行い、なんでも質問できる雰囲気を作り、同意をしていただいている。		不安や疑問が少しでも軽減できるように、十分な話し合いや説明を行っていききたい。
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員に来ていただき、利用者さんの話を聞いてもらっている。利用者さんや家族さんより、何か言われた時にはすぐ対応し、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。		意見箱の設置を検討していききたい。
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族さんの面会時には利用者さんの状況や体調面等、変化のあることはその都度報告させてもらっている。病気などの場合には電話連絡をし、受診後の報告なども行っている。		
15	8	(自己評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年1回家族会を実施し、その中で職員は席をはずし家族さん同士で話し合ってもらう時間をとってもらっている。また、アンケートに意見を記入してもらっている。		気軽に言ってもらえる雰囲気づくりを心がけていききたい。また、意見箱の設置を検討していききたい。
		(外部評価) 3ヶ月毎に、手紙と写真でご本人の様子を報告されている。ご家族の来訪時には、近況報告され、受診時記入するカードを見てもらおうようにされている。調査当日、多くのご家族の訪問があり、職員は笑顔で対応され、ご本人の様子を伝えておられた。	(外部評価) 家族会には家族同士の話し合いの時間を作り、意見交換していただいている。職員の笑顔がほしいというような意見もいただき、今年目標として取り組まれている。家族の協力もあり、ハーモニカ演奏やお話相手のボランティアの来訪もある。		意見の出にくいご家族への働きかけ等についても工夫を重ね、さらに、ご家族の意見を介護計画に反映していけるような取り組みをすすめていききたいと考えておられる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃の業務の中で不安や提案事項はできるだけ聞くようまた、問題は後回しせず、解決できるよう努力している。		意見や提案を言いやすい雰囲気づくりを心がけていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた人員配置ができています。緊急時や夜間の呼び出しにも対応できるようになっている。職員の急病や急な休みの時も調整できています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動があった時は利用者さんや家族さんにも紹介し、不安を与えないように努めている。その後の協力体制もサポートしてくれている。		
			(外部評価) 職員の異動の際には、利用者、ご家族へ報告され、不安等をやわらげられるようなかかわりに努めておられる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度より、研修班の立ち上げを行い、職員の勤務年数に応じた社内研修を行っている。新人・1年・3年・5年研修の実施。また外部の研修も機会があるごとに参加している。		
			(外部評価) 管理者は、「認知症四国フォーラム」に参加され、看取りについての実践発表をされた。研修班を作り、職員の段階に応じた研修を行われたり、時には、外部より講師を招き、勉強会をされることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			定期的な社外研修や勉強会で交流を持っている。また相互研修などで意見交換を行い取り組みの参考にしている。		今後、地域での事業者間の交流を考えて生きたい。
			(外部評価)		
			外部の研修会等で他事業所の取り組みを聞かれたり、相互研修等の取り組みは、気付きや考えるきっかけとなっている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			休憩ができる場を設けている。日常の会話の中からもストレスに対する悩みを把握するよう努めている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各職員の勤務状態や健康状態を把握している。職員研修の参加や資格取得に向けた支援も行っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			契約を行う前に、本人や家族さんとの面談を行い、ホームの見学をしていただき、不安なことは確認してもらっている。また、本人さんの会話や行動により不安なことなどもくみ取る努力をしている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 再々の家族さんも含めての面談を行い、困っていることや、不安や、求めていること等を聞く機会を持ちこれまでの生活が少しでも維持できるよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ケアマネジャーと連携をとり、必要としているサービスが提供できるようになっている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族さんに見学してもらったり、入居に伴い不安にならないよう家族さんの面会の協力を得たりしている。 (外部評価) 入居前に、ご本人ご家族に見学していただいたり、職員が利用予定者を訪ねておられる。入居間もないころは、面会の機会を多く作っていただけるよう声かけをされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんに助けてもらったり、教えてもらったりする場面がある。また、教えてもらった時には感謝の気持ちを伝えている。 (外部評価) 職員は、利用者から家事や花の育て方、方言の意味等を教えてもらうこともある。時には、職員が子育ての悩みを聞いてもらったり、利用者から「明日も来てね、待ってるよ。」と言われ、喜びを感じることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族さんから情報を得たり、共有するように努めている。また、ホーム内の行事などでもできるだけ利用者の方と一緒に過ごしていただけるよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出や外泊の相談を受けた際には本人さんが混乱しないように努めており、日々の状況を伝えて外出を勧めている。行事の呼びかけも行っている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人は面会に来てくれるが、他の支援は行えていない。家族さんの協力を得て、お墓参り等には出かけている。		利用者一人ひとりの馴染みの場所を知る。また、気軽に出かけられるよう勤務の調整を行う。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う人同士で過ごせるよう座る位置にも配慮しているが、居室で過ごす時間が多い方への関わりは少ないように思う。		居室で過ごされている方への、関わりを増やしていくように努める。落ちつける居室の雰囲気も考えていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院され、退去となった利用者さんにも面会に行き、家族さんからの相談も受け、連絡している。		家族さんとの連絡や相談を聞いたりして、関係を切らないよう努めていきたい。また、行事の参加の呼びかけもしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中での言葉や表現から把握するように努めている。意思疎通の困難な方には家族さんから情報を得ている。		本人さんの気持ちをもっと理解し、今できることの発見をし、継続する。
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々との日々のかかわりの中で、表情や仕草等から思いを汲み取られたり、ご家族からこれまでのことを教えていただく等、センター方式の書式を用いて、利用者一人ひとりの意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活歴や昔の様子など聞いてはいるが十分とは言えない。		利用者さんや家族さんとの会話を大切に、情報が少しでも得られるように努めていく。
			(外部評価)		
			健康面や体力なども考慮し、無理のない生活を支援している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康面や体力なども考慮し、無理のない生活を支援している。		
			(外部評価)		
			健康面や体力なども考慮し、無理のない生活を支援している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人や家族さんの意向を聞き、職員間でも情報交換を行いながら介護計画を作成している。		本人や家族さんを変えての話し合いも今後は積極的に行う。
			(外部評価)		
			利用者個々のアセスメントに基づき、ご本人、ご家族の意見を採り入れ、介護計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			状態に合わせた介護計画の見直しを行っていきいたい。
			6ヶ月に1回は見直しているが、随時にはできていないことがある。状態の変化に応じて話し合いはしているが、計画に反映できていない。			
			(外部評価)			
			職員の日々の気付き等を記録し、計画の見直し時に採り入れておられる。又、利用者の活動意欲を支援するための計画等も随時立てられている。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
			カルテに食事量や排泄等記入しており、日々の様子等も本人の言葉でありのまま記入するよう努めている。			
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			フルーツの家にリハビリ室をも設置し、利用できるようになってるので、個々にあった機能訓練の支援もしていきたい。
			本人・家族さんの状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足を高めるよう努力している。			
			(外部評価)			
			病院受診時の送迎や理美容の利用等、支援されている。		さらに、お墓参り等、利用者個別の希望に沿った支援を行なっていきいたいと考えておられた。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 定期的に民生委員や音楽ボランティアの方が来られている。防火訓練も行い消防の方にも協力してもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ほとんどできていない。		ケアマネジャーや他の事業所の方たちと気軽に相談できる場を作っていく、いろいろ選択できるサービスを今後は考えていく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの職員の方とは周辺情報や支援に関する情報交換ができる関係を築いており協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が対応し、医療連携も確保している。必要ときや希望があるときも随時対応している。		
			(外部評価) 協力病院の他、ご家族が付き添い、これまでかかっておられた病院を受診されている方もおられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院の医師は理解があり、利用者さんの治療に応じて相談している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職を配置しており、利用者さんの健康管理や状態の変化に応じた支援を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院へ訪問し、主治医、病棟師長、ケースワーカーなどに経過を確認し、退院後の受け入れ態勢を整えることに努めている。家族さんと情報交換や希望も確認し、早期退院の支援をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、早い段階から家族さん、医師との話し合いを持っている。終末期に関する指針を定めている(家族、主治医の協力がある。医療行為は行わない)また、職員間の意識の確認も行っている。 (外部評価) 終末期のことについては、ご本人・ご家族の希望を聞き、かかりつけ医とも話し合われている。ご本人の思いを最優先に、ご家族と相談しながら取り組まれている。		これまでに3例の終末期の支援をさせていただき、いろいろ考えさせていただき感謝している。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族さんとも十分に話し合いながら本人や家族さんの気持ちを大切にしながら安心感が持てるよう対応している。急変時にはすぐに対応してもらうよう医療機関との連携もとれている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた時はケアプランや記録を渡して、日々の様子や健康面などの情報交換を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人一人に合わせ、プライバシーを損ねないように努めている。		プライバシーについてや言葉かけ等の対応について今後の勉強会やミーティング等で徹底していくように話し合う。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の食べこぼし等にも、さりげなく対応されていた。個別の記録等、個人情報の取り扱いも職員間で徹底されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者さんに合わせて声かけをし、意思表示の難しい方には表情を読み取るようにしている。本人さんの意思を大事にするよう心がけている。		自己決定できるような場面を作っていきたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			基本的な一日の流れはあるが、一人一人利用者さんの気持ちや希望を聞き生活してもらえよう努めている。		業務が優先にならないように、利用者さんのペースに合わせて動く事を心がける。
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの希望を大切にされており、利用者の居たい場所で過ごせるよう支援されている。食事の時間等、職員は、利用者個々の動きに沿って介助をされている様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服装等はなるべく自分で好んだものを着てもらおうようにしている。理美容は2ヶ月に1回ホームに来てもらっているが、家族に連れて行ってもらっている方もいる。		家族に相談し、協力を得ながら理・美容室へも行けるよう取り組んでいきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けはできる人には手伝ってもらっている。		できていない人への対応を考えていく。
			(外部評価) 利用者は、職員とともに野菜の下ごしらえや、下膳、食器洗いをされていた。利用者の状態に合わせて、食べやすいよう、きざみ食、ミキサー食を用意されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 家族さんの協力を得て、本人の好きな物を食べてもらえるよう努めている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できるだけトイレでの排泄を考え、排泄パターンを記入しチェックしながらトイレ誘導を行っている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			声かけをし、希望を聞くように心がけている。入浴時間等は体調にも配慮している。		ゆっくりくつろいだ入浴ができるよう支援していく。
			(外部評価)		
			午後の暖かい時間帯に入浴出来るよう声かけされている。冬場は、週2回の入浴となっているが、希望に応じて毎日入浴をされる方もおられる。入浴を嫌がられる方には「気持ち良く眠れるよ」等と声掛け等を工夫されている。お湯の温度等もその方の好みに合わせておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			生活リズムを整え、ゆっくりと休める安心できる場所を把握している。気軽に休める場所をいくつか設けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物干し・たたみ、食事の準備・片付け、自室の掃除、菜園など状態に応じてできることをしてもらっている。少しでもできることは手伝ってもらえるように心がけている。		張り合いや喜びのあることを見つけて楽しく過ごしてもらえるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			ご自分のお部屋のふき掃除をされる方や鉢植えの花を育てておられる方、行事の際、好きなカラオケを皆に披露される方、入浴時には、ご自分の下着を手洗いされる方もおられ、それぞれの習慣や趣味等を継続できるよう支援されている。時に手作りのおやつを作って楽しめることもある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自分で財布を持っている方もいるが、ほとんどの人が自分でお金を管理できていない。買い物はホームが支払ったり、立て替えなどで対応している。		家族さんとも相談し、本人が現金を持っての、買い物などの支援をもっと気軽に行けるようにしたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			季節ごとに外出はしているが、馴染みの場所には行っていない。散歩やドライブ等で出かけるように心がけている。		戸外で季節を肌で感じてもらえるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			月に1回外出する機会を作っておられる。又、日頃は、おやつを買いに出かけられたり、散歩にも出かけておられる。ご家族と外食に出かけられる方もおられる。		さらに、馴染みの所等、利用者一人ひとりの希望に沿った外出の支援に取り組んでいきたいと話されていた。皆で外出を楽しむような機会作りや誕生日に外出する等、利用者と相談しながら楽しみに計画していきたいと考えておられる。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族さんの協力が得られる方へはお願いしているが十分ではない。		今後、家族さんも一緒に行けるように呼びかけたり、協力をしていただけるよう努力したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は希望に合わせて行うようにしている。また、家族さんの協力も得ている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			お茶等を出したり、居室やホールで自由にゆっくり過ごしてもらえるよう心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  勉強会を通して正しく認識している。また、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関の出入りを自由にしているが、常に見守りをしている。		
			(外部評価)  玄関にはチャイムが設置されている。利用者の様子を把握して、見守り支援に努めておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  一時間ごとに巡回を行っており、日中の記録等もホールにて利用者の傍で行っている。夜間もホールで全体が見わたせるところにいる。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  本人さんの状態に応じて、自分で管理できる人はされている。管理が難しい方は家族さんと相談し預らせてもらっている。		なくすばかりではなく見守りを十分にし、関わっていくように取り組んでいきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  定期的な勉強会や報告書を提出し、その都度カンファレンスを行い徹底している。		職員一人ひとりのケアの質の向上をはかりたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  定期的な勉強会やその都度指導している。実技指導も行っており、マニュアルもわかりやすい所に置いている。		今後、消防署にお願いし、防火訓練以外にも救急の対応の指導をしてもらえるよう検討していきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  毎月ぬきうちの避難訓練を行い、年2回は消防署の指導も受けている。家族さんの協力もいただいている。		いざという時に少しでも早く避難できるよう訓練を重ね、努力していきたい。
			(外部評価)  職員の提案で、毎月、抜き打ちで避難訓練が行なわれている。警報が鳴ると利用者、訪問中のご家族等も揃って避難訓練をされている。訓練後には反省会も行なわれており、回数を重ねるごとに手順が確立してきており、避難に要する時間も短縮されてきている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  日頃より面会時には話を聞き、家族さんともコミュニケーションがとれるよう努めている。面会の少ない家族さんへは、緊急を要する場合には電話連絡をしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  少しでも変わったことや異常があるときは報告を行うようにしている。緊急を要する場合はその都度、報告し、指示をもらい対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) カルテに薬の説明が記載されているものを挟んでい る。服薬時は必ず手渡したり、口に入れさせてもら ったり内服の確認を行っている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分を多く摂ってもらい、食事やおやつも繊維の多い物を出すようにしている。便秘予防のため、適度な運動にも心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行っている。利用者さんの状態に応じて、うがいをしてもらっていることもある。ポリデントによる洗浄も行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立を立てており、栄養バランスは取れている。食事は毎食確認し記録している。水分補給にも心がけている。 (外部評価) 栄養バランスを考慮した献立を立てておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	勉強会で全員に手洗い、うがいの励行を徹底している。面会に来られた方にも声をかけお願いしている。ハイターによる消毒や予防接種も行なっている。本年もインフルエンザの予防接種、利用者、職員終了。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板やふきんはこまめに漂白し清潔を心がけている。冷蔵庫内の点検や掃除も定期的に行なっている。食材も、新鮮なものを仕入れ、長期保存しないようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中はいつでも入れるようにしている。玄関の自動ドアも違和感のないように木造にしており、雰囲気作りの配慮もしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>内装は木目調とし落ち着いた雰囲気があり、浴室やトイレ等は一般の家庭と同じ物を使用している。ホールにはくつろげるソファのスペースもある。職員の声のトーンや大きさは気をつけているが、十分ではない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>手作りのカレンダーには、過ぎた日に折り紙の花を飾るようにされており、今日が何日かが分かりやすいようにされていた。</p>		<p>職員の会話のトーンはミーティングで意識付けをしていく。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居室は個室である。ホールにはくつろげるソファや畳のスペースもある。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			今まで使用していたタンスや衣装ケース、テーブル等本人の使い慣れたものを使用してもらっている		
			(外部評価)		
			使い慣れた椅子、手押し車、衣装ハンガー等が持ち込まれていた。又、ご家族と作られた折り紙や植木鉢等もあり、調査訪問時、居室で利用者がご家族とともに和やかに過ごしておられる様子がうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度計・湿度計を設置し、適宜換気をしている。衣類での調整やひざ掛け等を使用し、適温を保つようにしている。汚物はふた付きのバケツを使用し、トイレ掃除もこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			物干し竿の高さの調整や、手すりも取り付けしている。廊下に、歩行の障害になるようなものは、置かないようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各部屋には表札や花などの写真をかけており、わかりやすいように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			中庭にはベンチやテーブル、縁台を置いてあり、自由に使ってもらえるようにしている。畑や花壇もあり、野菜の収穫などで楽しんでもらっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	フェイスシートを用いて、利用者さんの思いを知るように努めている。利用者さんが望む生活ができるよう、職員間で話し合っているが、十分ではない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ソファーに座り一緒に話をしたり、洗濯物をたたんだりしながらゆっくり話すように心がけているが、十分ではない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居室は個室になっており、一人一人自由に過ごしてもらっている。無理強いはしないように心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんの状態や、その日の雰囲気にもよるが、比較的、笑顔が見られていると思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族さんの協力を得て外出されている方や、中庭や近所へ散歩している人もいるが、できていない人もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	週一回往診をしてもらっており、気になることはその都度医師に相談するようにしている。状態に合わせて随時受診もしている。安全面では、十分とはいえない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんのペースに合わせて支援するように努めている。職員間でも、その都度、話をするようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時等にできるだけ家族と話しをし、状況を伝えるようにしている。気軽に、会話をしたり要望が言えるような雰囲気作りを心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族さんの面会はよくあるように思うが、地域の方が来てくれることは少ない。相談員の方が定期的に来てくれている。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	近隣の方と挨拶をかわしたり、散歩時に近所の人と少しずつではあるが話をする機会が増えてきたと思う。民生委員や相談員も定期的に来てくれ、利用者の家族の方からも、気軽に声をかけてくださるようになった。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんと一緒になって笑う姿が見かけられ、気づいたことなども積極的に言ってくれている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で気持ちが伝えられない方へは十分ではないかもしれないが、表情などからくみ取るように心がけている。家族の方からも意見や要望を聞くようにしていきたい。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に意見や要望を伝えてくれている方もいるが、十分ではない為、面会の度に話をしたり、意見や要望を聞くようにしていきたい。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ホームの建物は平屋で広々とした田舎風の住まいです。
- ・「和やかで 笑顔あふれる生活づくり」という、理念を職員で作し、共有しています。
- 職員は笑顔を大切にし、優しい声かけや対応を心がけています。
- ・玄関にボードを置き、利用者さんの写真を飾ったり月の予定などを貼ったりと普段の生活を知ってもらうよう努めています。
- ・毎年、盆踊り大会を開催し、地域の方にも参加してもらっています。
- ・毎月行う行事には、手作りのゲームをしたり外出ができるような企画を立てるようにしています。
- ・毎月、利用者さんと共におやつ作りをしています。
- ・利用者さんの誕生日に合わせて、誕生会を開き、プレゼントを用意して手作りケーキでお祝いをしています。
- ・年2回の防火訓練(消防署員指導)と、毎月1回抜き打ちで、避難訓練を行っています。
- ・毎月1回、勉強会を行ったり、勤続年数に応じて研修を行い、サービスの質を向上するための機会をもっています。